



青少年教育委員会(2022年10月～2023年9月)の活動計画の紹介と

会員の皆様へのお願いについて

「広島キワニスクラブの事業計画」からの抜粋

●委員会の主たる活動内容

- キワニスドールの贈呈および子ども虐待防止活動

●事業計画に盛り込まれた奉仕活動

- キワニスドール贈呈数の数値目標は立てないが、贈呈実施を目標とする
(新型コロナ下で、2年程度活動を停止していたことから)

青少年教育委員会の活動計画

- 活動目標 まず 2023/5 までにキワニスドールを 50 体製作して、病院へ贈呈する

●キャッチフレーズ

- リスタート&自らも手を動かして参加しよう！！

- ・新型コロナ以降 2 年ぶり活動を再開する
- ・これまでキワニスドールの製作は外部に依頼して、委員会は贈呈のみに関与

●キワニスドール贈呈事業を有意義な活動とするための課題

- ①ドール作成支援のボランティアグループの継続的な確保
- ②キワニス会員が自ら手を動かしてドール作成に関与することのルーティン化
- ③医療現場へのキワニスドール贈呈意義の理解促進

上記の課題を解決するために、ドール作成のための作業分担を明確にしてボランティアの方や会員の方が無理なく、継続できる仕組みを次頁以降に提案させていただきます。

ついては、会員の皆様のご協力、よろしく申し上げます。



キワニスドール作成過程の分担

☆キワニス会員の行う作業（ドール作成キットの準備）

- ・ 50cm×110cmの生地を二つ折りにした状態で、型紙（その①）を当てて鉛筆で大まかに切り抜く線を描く
 - ・ 縫い目線の型紙（その②）を当てて、鉛筆で線を描く
 - ・ 切り込みを入れる箇所に線を描く、キワニスラベルの取り付け位置や綿入れ口の位置を描く
- （・ハサミで最終的に裁断する線を鉛筆で、縫い目線から約5mmのところに描く）

☆ボランティアさんをお願いする作業（裁縫の作業のみ）

- ・ 縫いやすいように、布地からハサミで大まかに人形形を切り抜く
- ・ キワニスラベルを仮付けして、縫い目線に沿って縫う なお、糸は原則ボランティアさんに準備してもらう
- ・ 縫い目線から約5mmのところの線に沿って、ハサミで綺麗に切り取る
- ・ 首、腕等に切り込みを入れる

☆キワニス会員の行う作業（綿入れ等の仕上げ作業）

- ・ 綿入れ口の所から布を表に返す
- ・ 綿入れ口のラインの折り目をアイロンで付ける
- ・ 綿（55g/体）を綿入れ口から充てんする
- ・ 綿入れ口に沿って接着剤を薄く塗布し、張り合わせてクリップで固定する

ボランティアさんに集まってもらい、会場で実施すること

1時間程度を想定！！

☆広島キワニスクラブの活動状況とキワニスドールの製作の意義を説明

- ・ ビデオと簡単な資料を準備

☆ドール作成のポイントを丁寧に説明

（実際の作業は会場では行わず、各人が自宅で行ってもらう）

☆一人当たり2体分の作成キットを渡して、1か月後を目途に回収する

- ・ 回収時に粗品を進呈する

☆回収時に、今後も継続してボランティア活動を継続してもらえるかどうかの意思確認を行う

- ・ 出来れば、年に2～3回のリピーターを期待！



ボランティア募集の方法について

☆公民館の趣味サークルの団体へ

- ・南区にある大河公民館の広報誌「そよかぜ」にボランティア募集の案内を出して広く募集する
- ・裁縫に関連しそうな活動グループ（4～5団体）に対して、公民館事務局からも直接声掛けしてもらう

☆高校生の手芸サークルの団体へ

- ・現在、検討中！！

キワニス会員のドール作成への参画のお願い

青少年教育委員会の委員を含めた会員全員がこの活動に参加してもらうことが継続していくためには重要

- ・キワニスの委員会単位でまとまって作業をしてもらい、輪番制で定例会合後に実施
- ・青少年教育委員会の委員は必ず一人はその作業に参加
- ・作業会場は、リーガロイヤルホテル広島のキワニス事務局室内で1回60～90分程度
- ・この作業に1回参加するとメーキャップポイント1点を付与

以上